



新百人一首



新百人一首

常德沈氏法撰



文武天皇

就回河

社

多

歌

聖武天皇

一

一

一

一

一

一

大藏尉

玉く〜葉子むり

ふらふらのたね

はらあまをあらふ

よ

式部御字合

ふ

たぬ

あいら

む

み

田のま

あま

乃

まの

は

山崎

原

源當純

之風ふもるるる

其の心海は深し

しるるるるる

きるるるるる

藤原菱村の事

あまたの気こころ

いふはいふるる

身はあまのこ

ふふかきふふあ

物けり

ふるまひ

まのあはれ

ま

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

まのあはれ

清静心

静けさありて心

しるすも

たゞ観る風を

乃 利

忠

心

心

は

心

心

物

心

心

心

心

中納言長治

わつらんもくろく

もくろく

長治と申すは

もくろく

のりん

もくろく

大納言

神奈月

秋とれ

ぬん

秋の

な

秋

秋
あり

一代女

美ら島に産まれた女
孝行の波に波の如く
尔乃に重なる如く
高き山に如く

大物志

いよとていよとて
かたがたに
能く其徳を
下つたの如く
其

源三郎

山田家

そののり

しるし

いし

めし

しるし

源三郎

源三郎

しるし

しるし

しるし

しるし

しるし

しるし

しるし

しるし

しるし

藤原の國

日しはのりぬ

くわいなるの

くわいなるの

神さかたの

くわいなるの

くわいなるの

増産法

のりはのりなる

くわいなるの

くわいなるの

くわいなるの

藤内約松云

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

源順

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

奉 挙 神 祇

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

神 祇 奉 挙

舞原為教坊長

松平の亂、法に當る

舞年正のConservo

舞年正のConservo

舞年正のConservo

舞年正のConservo

舞年正のConservo

安法、師

松平の亂、法に當る

松平の亂、法に當る

舞年正のConservo

月のらんちん(月)のついで

そらと久

ちんちんあはれな

わあす

橋本幹

あか  
月  
あ  
あ  
あ

志  
あ  
あ

藤原  
惟  
あ  
あ

山田法師

よ  
の

あ  
の

い  
の

は  
の

ら  
の

具平親王

母  
の

あ  
の

は  
の

母  
の

い  
の

あ  
の



藤原仲文

あつみの  
なれは。

あつみの  
なれは。

あつみの

あつみの

秋吉  
の  
あつみの

あつみの

あつみの

あつみの  
あつみの

あつみの

あつみの

あつみの  
あつみの

大の 三條院

女院人

久保 三三 在途

たの 山風 の

望 七七

吾 なる 在途

見 なる

沙弥満持也万字句

尔母之年朝也

満持之舟通記也

之 舟通記也

万字句  
沙弥満持  
舟通記也  
万字句

あれはさかあ

こけ

いもろくえぬれ

ぬれ

かたし  
たのんれ

藤原忠能

藤原

あつね  
乃  
藤原  
朝臣

月もあつね

やとあつね

いもろくえぬれ  
いもろくえぬれ

のち

ふたつはあつた

大田のついで

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

る内結たよむ廿五

この乳飲まの目録

くくくくくくくくく

くくくくくくくく

藤原

めし部

え共

乃母

なみさ河

や、く

と

く

く

く

く

花山院あむのあむ

月よるあむのあむ

あむのあむのあむ

源道流

あむのあむのあむ

—のあむ

あむのあむ

あむのあむのあむ

あむのあむのあむ

大平守武 西野原  
高野原 の 記  
あふたのちかたの  
いふかたの  
た  
いふかた  
の

内大臣 ちかた  
の 記  
高野原  
いふかた  
の 記  
あふた  
の 記  
いふかた  
の 記

源頼朝

本丸

安丸

高丸

三

二

一

丸

福為仲丸

あやたの丸

よき丸

丸

丸



きりぎりすのうらむ

にのちのちのうらむ

いづれかたのうらむ

くさくさのうらむ

いづれかたのうらむ

白河院

糸はのねもあはれ

いづれかたのうらむ

いづれかたのうらむ

いづれかたのうらむ

いづれかたのうらむ

有丹

meat

かめんあゝる

有のち

藤江の酒坊

新科

おかしな話

神祇伯

歌仲

あゝる

ゆきから秋

後古  
あぢい

尔をゆて

後の藤

心づのよ

内大信

月こゝ

ふみお

いさよのしなま

乃らわらむあはれは

無よそふしあはれ

三條道長

葵はあはれ

いさよの

あはれ

法性寺

あはれ

たの

めぬ月

堀河

あはれ

あはれ

一 花の香をよめる

いづれ月夜に

るのみけを

志くし海女も 贈西上人

僧都清胤

たの

るやれ

まをり

いのは

君のまゝ

秋

結

あつた

まのうら

くまの

Handwritten cursive script, likely a signature or name.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

Handwritten cursive script, possibly a name or title.

左手中好公海持筆し

かゝるの事おぼしむる事

の事

は

の

の事

大快

法

かゝる

の事

大快

り

家  
あ  
信

の事

の事

の事

及の御座りませぬ

と云々云々云々

———の御座り

と云々云々云々

大層な御座りませぬ

麻呂法師

と云々云々

と云々云々云々

と云々云々

と云々云々云々

月世の人の心

あいの

かゝる

かゝる

かゝる

かゝる

かゝる

名前の心 形勢の心

かゝる

かゝる

かゝるから 大江の心

かゝる

かゝる



後藤 隆平

— 5月

Received from

Mr. Takahashi

か + 隆平

隆平

隆平

お酒

5月 5日

5月 5日

5

お酒

お酒

い  
は

く  
は

か  
の

月  
の

か  
の

た  
の

か  
の

い  
の

か  
の

鴨

か  
の

か  
の

か  
の

中  
の  
心

か  
の

か  
の

か  
の

か  
の

か  
の

か  
の

後久家子の太政大臣

志持昭春の御子

秋乃果敏太皇太后

女御昭康風子

東山一統元年

北山の子

たのむる月をたのむる海

たのむる月をたのむる海

海原秀子

きん

しん

しん

しん

大花

ゆ

お

あ

か

な

あ

あ

あ

あ

大花

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

一條院

ふたば  
の  
高倉

は  
はる

さ  
はらふ

人  
の  
は  
はる

は  
はる  
の  
月  
の

右大将

は  
はる  
の  
朝  
朝

は  
はる

は  
はる  
の  
は  
はる

は  
はる  
の  
は  
はる

あはれにぞきこえさ  
ふ子田乃

たまはるるまゝに  
た

たのそ〜ん  
ふらふら〜ん  
ふ

あはれにぞきこえさ  
ふ子田乃

あはれにぞきこえさ

あはれにぞきこえさ

あはれにぞきこえさ

あはれにぞきこえさ

あはれにぞきこえさ

小 竹 後

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

志 記 乃 袖

そとにのり

いそがし

ね

中々大志

いそがし

いそがし

藤原資家

いそがし

いそがし

いそがし

いそがし

いそがし

いそがし

い

い



法橋行通

あやふしうきふし

目くらましの

まのこころ

あやふしうきふし

正三位

知家

玉體

大和

沙事  
愿

若  
新

色変

游久

妻  
子

空風

空  
心

了

志

抄  
本  
子

南子

内親王

い  
れ  
は  
の  
け

東

北

西

南

の

字

乃

と

の

皇太后

の

の

の

の

從之徒新能

の宛あるあまのさき

たすつむれさかみ

かぬ のはの

うすさす 水

杉野くハ

たのしみ

かき

あはれき

のそ せん せん

おむしの

源孝康

新書、  
あれき、  
すへ

源孝康

源孝康

うらなひ  
あ

まじふ  
あ  
あ

ふたつ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

前大納言

あ

あ

あ

あ

あ



秋 あき 葉 は 糸 いと 風 かぜ の

ねむせぬ

よあましあは

たのしみ の 卯 の

月 つき を を しく し

入道 にんどう 三品 さんしん 道 みち 祖 そ 親 ちん 王 おう

松 まつ の の 下 した

よき よき ね ね の

あけ あけ な

ま ま くら くら ぶ ぶ ね ね

袖 そで の の あ あ け け

や や け け り り

秋 あき づ づ け け

い

あ

と

人 ひと

藤原性歌

皇乃あまの

のあそびん

たのち

ちよち

たのちのあまの

あまのあまのあまの

わはむき  
こころき  
こころき

藤原性歌

家名

朝臣

あまの

あまの

名

あまの

あまの

あまの

あまのあまの

格  
如  
如  
如

二  
三  
四  
五

六  
七  
八  
九

十  
十一  
十二  
十三

十四  
十五  
十六  
十七

十八  
十九  
二十  
二十一

二十二  
二十三  
二十四  
二十五

二十六  
二十七  
二十八  
二十九

三十  
三十一  
三十二  
三十三

三十四  
三十五  
三十六  
三十七

三十八  
三十九  
四十  
四十一

四十二  
四十三  
四十四  
四十五

四十六  
四十七  
四十八  
四十九



ふの歌のたふさるる歌

ふゆか

うさ

うさ

ま

な

か

す

は

流

神

あ

い

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

光の筆の掃の大臣

あつ

人

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

わがしほのよそ

さしの  
あはれ

伏見院

よのよ  
あは

のひら

あはれ

あはれ

月

あはれ

あはれ

あはれ

中務

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

古法門院

りて

社あり

あり

阿波のいりやう(い)の

海へきりてくはく

かきりし月を乃

花園院

善原やみりてふ

乃のせらか

いり  
の

たのむ久

たのむ

たのむ  
久



古今選 三冊

本居先生輯 村田並樹大人校

此書ハ本居大人考より古今の文選に  
一代集の中よりこと小すむるもの  
撰びてきて著にすむるもの  
本小よりおせられたるものなり

類題和歌補闕 六冊

加藤古風大人撰

此の書ハ世に少くある和歌の類題の  
ことハ二十九年御前より  
撰りてきて著にすむるもの  
撰りてきて著にすむるもの  
撰りてきて著にすむるもの

唐物語 一冊

西行上人作 清水濱臣大人標注

此の書ハ西行上人の唐事の  
ことハ西行上人の唐事の  
ことハ西行上人の唐事の  
ことハ西行上人の唐事の

草書前赤壁賦 一冊

天民先生書

此書ハ前赤壁賦ヲ詩佛先生ノ書レタル  
ナリ筆法一家ノ風ニシテ激セズ剛セズ  
手本トスベキ書ナリ

小學題辭 一冊

龍澤先生書

此書ハ宋ノ朱文公ノ小學題辭ヲ龍澤  
先生ノ書レタルナリ筆力怒張唐人ノ風  
ナリ

龍本氣霽帖 一冊

狸々公羽真蹟

此書ハ龍本氣霽帖ノ詩ヲ龍澤先生ノ書  
レタルナリ筆力怒張唐人ノ風ナリ

貫之朝臣書

堤中納言家集

此の書ハ堤中納言家集ノ書  
レタルナリ筆力怒張唐人ノ風ナリ

假字考 二冊

岡田真澄大人著 鵬齋先生漢文序 貞臣大人がお序

此の書ハ假字ハハク考ふる  
ことハ假字ハハク考ふる  
ことハ假字ハハク考ふる  
ことハ假字ハハク考ふる

新朗詠集 一冊

真海柏木先生輯 素堂山本先生校

此の書ハ待ハ止文彦希より下  
の書ハ待ハ止文彦希より下  
の書ハ待ハ止文彦希より下  
の書ハ待ハ止文彦希より下

歌仙繪抄 一冊

藤原正臣先生著 喜多武清先生模畫

此の書ハ他老の歌仙の  
ことハ他老の歌仙の  
ことハ他老の歌仙の  
ことハ他老の歌仙の

草書千字文 一冊

屋代先生書

此書ハ輪池屋代先生の筆法ヲ見ル  
ベキ刻本ナリ

玄對先生画譜 三冊

玄對翁筆

此書ハ人物花鳥ノ類ヲ玄對先生ノ画  
譜フ人ノ手本ニトカレタルナリノ奇絶  
ナル一本書ヲ開キテ見ユフベシ

幼稚画手本 一冊

柳烟堂主人筆

此の書ハ山水人物花鳥の  
ことハ山水人物花鳥の  
ことハ山水人物花鳥の  
ことハ山水人物花鳥の

西音發微 二冊

柳圃先生遺教 大槻玄幹先生著

此書ハ西洋書體ノ時西洋語ニ  
和音唐音ヲ撰ビ註シ仕様ヲ詳ニサ  
西洋字原考ヲ附シタリ







養生樹譜 三冊 長生舎主人編

此の書は草木の種を極く詳しく記し、その性質を述べ、栽培の法を授け、養生の道に資するものなり。

松葉蘭譜 一冊

此の書は松葉蘭の種を詳しく記し、その性質を述べ、栽培の法を授け、養生の道に資するものなり。

古今名物類聚 全十八冊 不昧公著

此の書は古今の名物を詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

日光山誌 五冊 植田孟縉編

更科日記 二冊

古今和歌六帖標注 中阿闍梨 平田豆流校

此の書は古今和歌六帖を詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

産家心得草 二冊 羽佐間先生口説

此の書は産家の心得を詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

為己執記 一冊 羽佐間先生著

此の書は為己の執記を詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

須磨のかいさ 一冊 中臣親善大人遺文

此の書は須磨のかいさを詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

張氏醫通 止三冊 明張路玉著編

言志録 一冊 佐藤一齋先生著

江戸町鑑 二冊

江戸町のし 一冊

袖珍名鑑 一冊

勸善忠義傳 二冊

此の書は勸善忠義傳を詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

画本勲功草削集 五冊 山崎知雄大人輯

此の書は画本勲功草削集を詳しく記し、その性質を述べ、養生の道に資するものなり。

小説土平傳 一冊

俳諧人名録 二冊 東都惟草茶先生輯

此書は世の俳諧家の名をとりわけ分けて  
おその下小を記すなり

俳諧職業盡 二冊 茶靜大人撰

此書は俳諧の業を盡すなり  
此書は俳諧の業を盡すなり  
此書は俳諧の業を盡すなり

俳諧年表録 一冊 咫尺齋豊山翁著

此書は俳諧の年表を記すなり  
此書は俳諧の年表を記すなり

調本 百二十番 十珍本薄用 全二十二冊

繪本 三國妖婦傳 上編五冊 中編五冊 下編五冊 合十五冊

此書は三國の妖婦の事  
おその下小を記すなり

魚鱗手引種 一冊

俳諧發句題叢 四冊 椿丘太市翁輯

此書は俳諧の發句の題を記すなり  
此書は俳諧の發句の題を記すなり

今千五百題發句集 二冊 黑瀬曾見翁校輯

此書は古今の俳諧の發句を記すなり  
此書は古今の俳諧の發句を記すなり

芭蕉發句小鏡 一冊 雪中庵蒙太翁選 門人 三路著

洞編上

川外 近刻

早引二體節用集大成 全一冊

大寶百人一首紅葉錦 全

桃花百人一首 全

錦 百人一首書後山小彩色入 全

瀧本六旬帖 全

同三十六歌仙 全

十蔭先生書 全一冊

山居帖 全

同新百人一首 全

萬葉新採百首 全

大秋新採歌 全

梅室家集 二冊 梅室先生自撰の集なり

此書は梅室の集なり  
此書は梅室の集なり

梅室大人附句技萃 二冊 劫南菊野翁編輯あり

今人明題集 二冊 双雀庵永齋翁輯

此書は天保の初に  
此書は天保の初に

永葉俳諧集 五冊 双雀庵永齋翁の家集也

俳諧發句朗詠集 初一冊 一名口誦電鑑

此書は俳諧の發句の朗詠の集なり  
此書は俳諧の發句の朗詠の集なり

俳諧合鏡 懷中一冊 拙堂丹丸翁撰

此書は俳諧の合鏡の集なり  
此書は俳諧の合鏡の集なり

|             |       |                |
|-------------|-------|----------------|
| 同古今かな序      | 全     |                |
| 同往かひ振       | 全     |                |
| 真州千字文       | 全     |                |
| 同用筆類        | 大中小色々 |                |
| 同御好短冊式紙     | 色々    |                |
| 百瀬高貴集       | 全一冊   | 彫物画手本二冊        |
| 同みよご名所集     | 全     | 繪本百物語          |
| 艸書千字文 大民元之書 | 全     | 繪本大和錦 近代名人     |
| 後醍醐天皇集      | 全     | 古今名馬圖景         |
| 万葉古歌集       | 全     | 繪本金剛傳          |
| 神皇正統記       | 全     | 繪本武者揃          |
| 教童子教        | 全     | 繪本勇士鑑          |
|             |       | 抱一先生画譜一冊 彩色入善本 |
|             |       | 近世名家画帖 二帖      |
|             |       | 名家画譜一冊         |

此書のいふ古今の落書き人の多きを  
 初めにしきりて、筆を揃はせしむるの便り  
 あり

